

1. 園紹介

Topics

- 2. 働き方改革を推進した背景
- 3. 今回の取り組み
- 4. 総括とこれから



園紹介

園紹介

日出やまとこども園

種別・・・・幼保連携型認定こども園

設置主体· 社会福祉法人 華頂福祉会

住所 : : : 速見郡日出町1855-1

設立日 · · · 1951年4月(70年目)

定員 : : : 115名

職員数・・・ 36名



園紹介~施設の紹介①~

● 玄関・入口風景





●12月はイルミネーション



・ホール

園紹介 ~施設の紹介②~



● ひまわり児童クラブの様子

●サップ体験



●お花見遠足





●お泊り会

園紹介 ~保育風景~











日々の保育をつうじて、様々な体験を・・・







園紹介 ~保育風景~



● 和菓子教室



● 地域のフットサルコートを活用



● 地域の方との芋ほり



● 出初式(幼年消防団)



ヘアアレンジメント

地域の人々と連携し、 こどもに様々な経験を 実現してきました!

園紹介~園の自慢~

1. 職員が明るく、退職率が低い!

2. 家庭(保護者)との関係性がとてもよい!

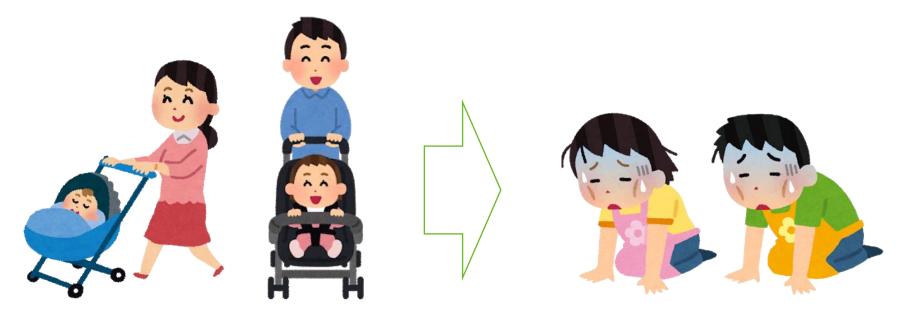
3. 園舎が新しくてきれい!



働き方改革を推進した背景

働き方改革を推進した背景①

昨年10月に職員の休職が増え、現場の負担感が増加してきた

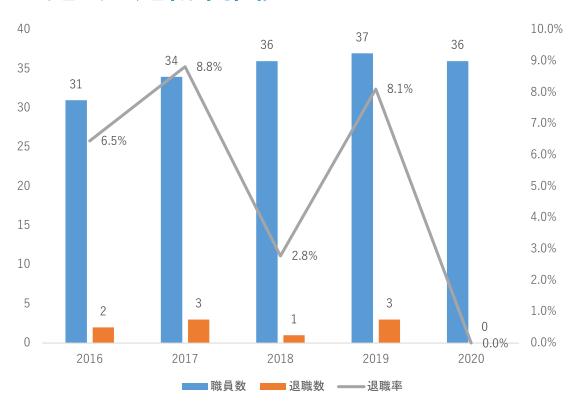


職員が出産による休職 に入った 年度途中の為、採用も 困難で現場負担が増加

働き方改革を推進した背景②

退職も少なく、働き方改革も積極的に推進し、大きな課題はない

●過去の退職率推移



昨年度のリーダー 養成講座にも参加





● 休憩室を設置

働き方改革を推進した背景③

効率化の為に保育ICTの導入もしたが、効率化しているか分からない



登降園管理システム の導入 ● 各クラスPCと スマートフォンを配備





働き方改革を推進した背景④

昨年度のモデル園園長から本取り組みへの声かけをされた





本取組への応募を決意!!



今回の取り組み

今回の取り組み ~現状把握①~

【始まる前の現状】

- ・ノンコンタクトでの休憩取得
- ⇒実施した当初は取得時間も確認していたものの、 現在はクラスに任せているため取得状況は把握できていない

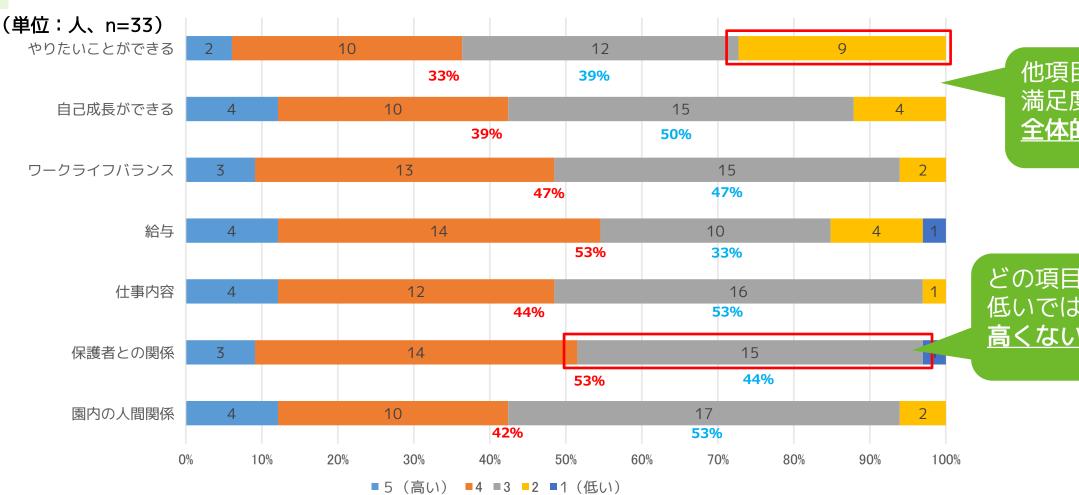
持ち帰り業務や居残り業務

⇒職員によって差があるため問題がどこにあるのかわからない。 クラスの業務内容?時間の使い方?

> 現状把握のために 全職員を対象にアンケート実施

【参考】アンケート結果①

質問内容:職場に対する、現状の満足度(項目別)



他項目より 満足度が **全体的に低**い

どの項目も満足度が 低いではなく、 **高くない**状況

17

【参考】アンケート結果②

質問内容:休憩の取得・有給の取得状況



【参考】アンケート結果③

また、ヒアリング等で職員へ意図が伝わっていない課題もわかった

【職員の園に対する要望】

- ・休憩に対する考え方が職員によって違うことどのような形でとれるのが良いのか正直わからなくなってきています
- ・閉鎖的、コミュニケーションがとれていない
- ・休憩を別室で取れるようになったが、長続きしない
- ・子どもから離れて休憩したい

今回の取り組み ~現状把握②~

アンケート結果を受け・・・・

- 取り組みを行ってきているつもりだったので、それなりの結果を期待していたが、思いとは異なり、不満もあがったことで辛い思いをしました。
- ・以前と比べると働きやすい環境にはなっているとは思うが、 時間の使い方や業務効率化が上手くいっておらず、持ち帰りや残って書類作成をするなど、 負担につながっていることがわかりました。
- ・トップダウンとボトムアップの使い分けの重要性を感じました。(私自身がこうしたいを取り入れてばかりだったので、 今後どうするべきかを職員と共に考えることの必要性を感じました。)

今回の取り組み ~目的・目標~

こどもと職員が夢を叶えられるこども園にする!

⇒働いていることに幸せを感じる=保育を(創れる・語れる・考えられる)環境を創る

①業務内容を見直し、日出やまとこども園の文化を職員に理解してもらう

②ノンコンタクトでの休憩が取れて、心に余裕が持てる環境をつくる

目標①、②それぞれで施策を実施

アクション①

①モデルクラスによる、保育環境の整備

【目的】

働き方改革を現場と一緒に推進する為の 意識改革と、保育力の強化を合わせて 行うことを目的とした

【アクション】

O歳児、4歳児クラスをモデルクラスに決定し 以下を実施

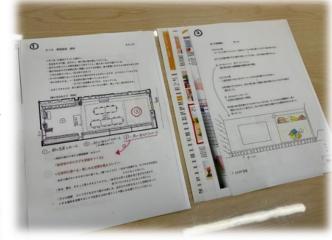
- ・環境整備を各クラスで検討
- ・園長に対し、プレゼンを実施意見やアドバイスを交わしながら決定
- ・職員の思う「子どもたちの楽しめる」 環境構築の備品を購入



◆ クラスで必要なものを 真剣に考える

環境整備をクラス で取りまとめ





ZOOMを活用し プレゼンを実施

効果検証:保育環境の整備①

午睡のスペースを遊びこめる空間へ

4歳児クラス



おもちゃなどを都度片づけていたものを・・・



● 子どもたちが主体的に遊べる環境へ変更

効果検証:保育環境の整備②

ホールをランチコーナーにすることで有効活用に成功







日頃は広々していたホール のスペース



● 食事の場所を変更することで、 保育室の片づけ等も減る

アクション②

②休憩取得の推進

【目的】

休憩をしっかりと取得できる職場環境と ノンコンタクトでの休憩を行うことで、 職員がリフレッシュし、保育に集中できる 環境を創る

【アクション】

- ・休憩取得を通達するだけではなく、取得ができているかのチェックを実施※目標:ノンコンタクトでの休憩30分
- ・当初はスペースのみだったが、少しでも落ち着く空間になればと思い保育雑誌やお菓子コーナーも設置



◆ 休憩室利用の休憩 が推進された

お菓子コーナーの設置



【参考】朝会議の廃止

共有だけの会議を大胆に廃止した

- ■今までの朝会議の内容
- ・毎朝9時40分~10分程度のクラス代表者で、 各クラスの出席人数と伝達事項の確認

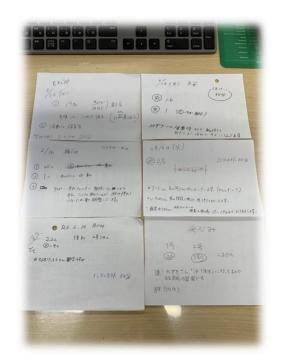
■問題点

- ・伝達事項が、各クラスに伝わっていないことがあった
- ・クラスの状況によっては遅刻・参加できない

■変更点

- ・問題点も多く、会議として意味がないと判断し、廃止
- ・毎朝各クラスから人数・伝達事項を記入して 担当主幹にメモを渡す
- ・主幹は内容を確認後、園長が朝会議録に打ち込み
- ・クラスのPCで職員は確認したら○を入れる ※確認できていないクラスはセルの色が変わらない

● 伝達メモ

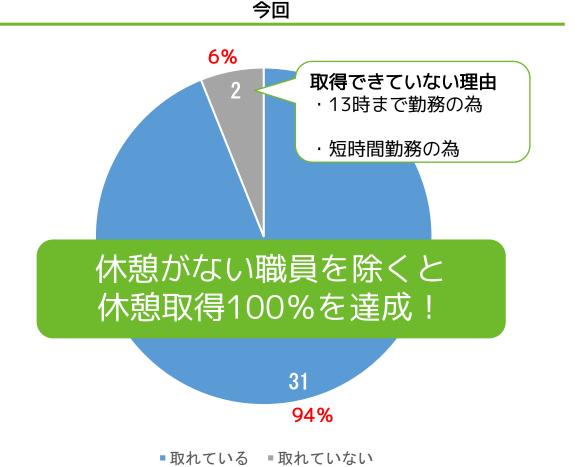


クラス	チェック	ジセルに〇を入力して 出席人数	欠席人数	ノンコンタクト	病気等の欠席		
ぐみ		14 *	3 4	20 🥱	名前		内容
17	0				こうが	->	TRI
	0	あきと⇒10時30分寮園		ひかり	-	風器	
					393	-	体期不正
ぐみ		19 4	2 4	30 🥱		-	
						-	
21						->	
						-	
ぐみ		21 *	0 %	30 🥱		->	
21	0					-	
	l °	l				**	
	l	l .				->	
ぐみ		24 *	3 4	30 🥱	ゆうが	-	魏 - 塔3
27	0				3.4	-	唉 - 鼻2
	0	l .			かいと	-	員もらい
						->	
ぐみ		23 4	1 %	30 ∌		-	
24	0	1	~° _	/		->	
	_ ~					->	
		<u> </u>				**	
ぐみ		20 🕏	0 4	30 🔗		-5	
20	0					-	
		l .				-	
						-	
計	130	121 *	9 &				
食室							
童		农					
	0						
	l	l .					
	10時~ 見学 (オオシマ)						
	9 纳5 0 分一交逐安全(以上见)						
	マラソン大会の反省は会談尋に入れています						

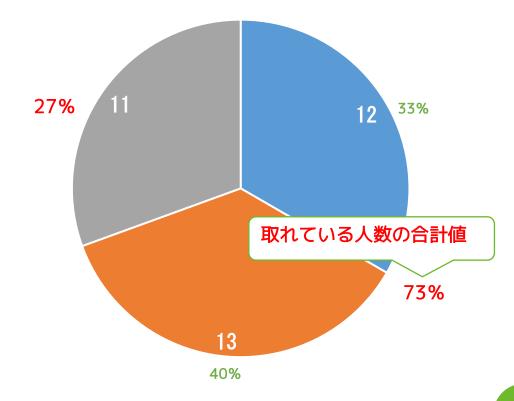
● 朝会議録

効果検証:休憩取得

(単位:人、n=33)



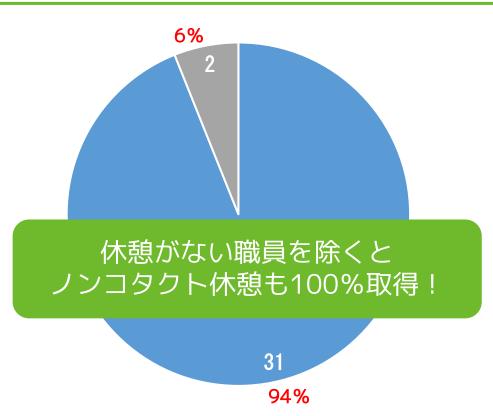
(参考)第1回目



効果検証: ノンコンタクト休憩

(単位:人、n=33)

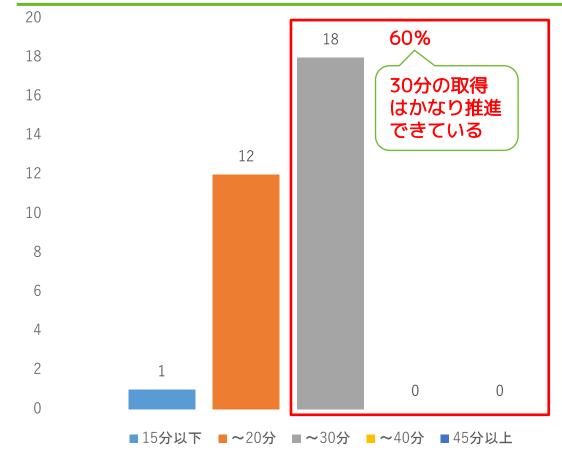
ノンコンタクトでの休憩取得状況



■取れている ■取れていない

(単位:人、n=30)

ノンコンタクトでの休憩時間(1日あたり)の分布



【参考】ノンコンタクト休憩の意見

ポジティブな意見

- ■リフレッシュ(計13名)
- 気分のリフレッシュができ、モチベーションの向上へつながる
- ・リフレッシュ。しっかりとした休憩は大切だと思う
- ・一旦業務の場所から離れることで気持ちを リフレッシュしてその後の業務へと繋がるため
- ・業務から離れ気持ちの切り替えができる
- ■用事対応(計2名)
- ・用事があって外に出たいときに出やすい
- ■自由な時間の確保(計5名)
- 自分の時間が出来るため
- 私用ができるため
- ■業務対応(計1名)
- 書類などできるから

ネガティブな意見

- ■ネガティブ(計4名)
- ・今後も続けたいですが行事前やクラスでの仕事がある場合は休憩を取ることが強制だと仕事がし辛いです。
- 続けていきたいけど、忙しい日に無理に とらなくてもいいと思う
- ・続けたいが義務になると負担に感じる
- どちらとも言えない。ノンコンタクトを取るために 急かされるから

ネガティブな意見は少数派で、 ほとんどがポジティブな意見!



総括と次年度の取り組み

総括

- ・今回のモデル園事業で保育環境の整備、ノンコンタクトでの休憩、会議の廃止で 一定の成果を出すことができた。
- ・園での「当たり前」を見直すことがとても重要だと感じるとともに、その「当たり前」の 環境を変えていくことの難しさを改めて認識。
- ・職員アンケートの内容には辛い思いをしました。しかし、すべては大切な職員からの 貴重な声であること。その中で改革すべきだと思ったことは今回のように きちんと目的や目標を設定してから諦めずに行うことが大切。
- ・次年度に向けて働き方改革で業務が単純に短くなる、楽になると職員が勘違いしないように 目的(質の向上)をしっかりと伝えていきながら、継続的に実施してきたい。

次年度の取り組み①帳票の簡素化

園便りにクラススペースをつくり負担軽減



● カレンダーや行事の重複箇所があり 園便りとクラスだよりを1枚に!

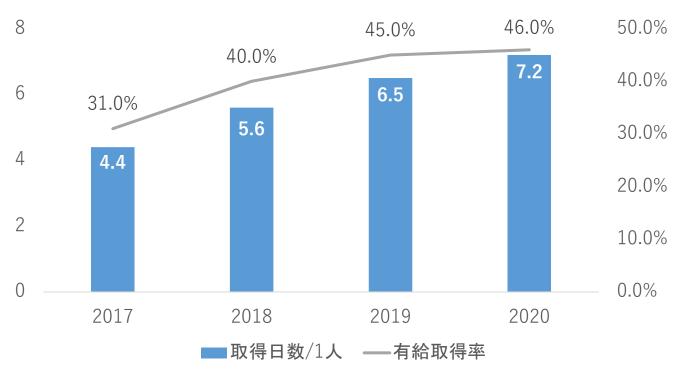


● 作成時間の短縮と用紙や 印刷の削減に!

次年度の取り組み②有給取得率アップの推進

有給取得率アップに向けて、シフト管理等の検討会議を行い実施していく

● 過去の有給取得率推移







ご清聴ありがとうございました